

# “世界のフィラリア対策と日本の貢献”

日時：2015年10月17日（土曜日）9:00 - 11:30

場所：長崎大学・ボンペ会館（坂本地区）

目的： 世界フィラリア症対策の今、それにかかわる日本の貢献を検証し、さらに制圧に向けて、今後の日本の役割を探る。

座長：濱野真二郎、一盛和世

プログラム：

1. はじめに 一盛和世
2. フィラリア症研究と防圧における日本の貢献 多田功  
Japan's contribution to the research and control of lymphatic filariasis
3. 世界の動き -- リンパ系フィラリア症対策の今
  - WHO (矢島綾)  
“世界リンパ系フィラリア症制圧計画の枠組み”
  - Pac-ELF (Patricia Graves)  
Lymphatic Filariasis Elimination end-game in the Pacific
  - JICA (上田直子)  
“世界フィラリア対策に対する JICA の貢献”
  - DNDi (平林史子)  
“フィラリア症対策を補強する DNDi の医薬品開発”  
New treatment for reinforcement of the filarial diseases control by DNDi
  - アカデミア (伊藤誠) ( )  
“フィラリア学に対する日本のアカデミアの貢献”
4. まとめ

参加者： 学会会員、学生、職員（熱研、GHTM、長崎大学）  
元JOCV、フィラリア協賛企業、一般